

科目名	情報サービス論			科目コード	5303
開講学科	司書課程	単位数	4	形態	講義
教員名	松井純子				
授業の目的及びテーマ					
(1) 情報サービスの種類と特性：情報サービスの種類、それらの内容と意義を理解する。(2) レファレンスサービス：レファレンスサービスの定義と意義を知り、サービスの内容について具体的に理解する。また、レファレンスプロセスとレファレンスインタビューについて理解する。(3) 情報検索サービス：情報検索サービスの内容、およびデータベース検索のしくみについて理解する。					
授業概要					
現代の図書館では、利用者の情報ニーズをふまえた多様な情報サービスが提供されている。本科目では、図書館における情報サービスの種類と内容を述べるとともに、実際にサービスを提供するために必要な知識と技能について詳述する。おおまかには、以下の内容を学び、理解することが必要である。(1) 図書館サービスにおける情報サービスの位置づけとその意義、(2) 情報サービスの種類およびそれらの内容と意義、(3) レファレンスサービスの内容の詳細とレファレンスプロセス、レファレンスインタビュー、(4) 情報サービスで用いられる情報源の種類と特性、(5) 情報検索サービスの内容とデータベース検索のしくみ、(6) 課題解決型サービス（ビジネス支援サービス、健康・医療情報サービス、法律情報サービスなど）の内容と意義、(7) 情報リテラシー教育の内容と方法、意義					
授業計画					
第 1 回：情報サービスとは何か、現代の図書館における情報サービスの意義					
第 2 回：情報サービスの種類と特性 (1) レファレンスサービス					
第 3 回：情報サービスの種類と特性 (2) レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス					
第 4 回：情報サービスの種類と特性 (3) 利用案内 / 利用指導、情報リテラシー教育					
第 5 回：情報サービスの種類と特性 (4) 地域情報の提供 / 発信サービス、コミュニティ情報サービス、案内・紹介サービス					
第 6 回：情報サービスの種類と特性 (5) 課題解決型サービス					
第 7 回：レファレンスプロセス (1) 利用者の情報ニーズと情報探索行動					
第 8 回：レファレンスプロセス (2) 質問の明確化とレファレンスインタビュー					
第 9 回：レファレンスプロセス (3) 検索戦略の構築：検索質問の分析、情報源の選択、検索語の選定、検索式の作成					
第 10 回：レファレンスプロセス (4) 検索の実行、回答の提供と評価					
第 11 回：情報検索サービス (1) データベース構築：索引語の付与、自然語と統制語、シソーラス					
第 12 回：情報検索サービス (2) データベース検索：データベースの検索機能					
第 13 回：情報検索サービス (3) データベース検索：検索結果の評価と回答の評価、再現率と精度					
第 14 回：レファレンスサービスにおける情報源の種類と特性 (1) 事実検索の情報源と文献検索の情報源、辞書・事典の種類と特性					
第 15 回：レファレンスサービスにおける情報源の種類と特性 (2) 人物関係の情報源の種類と特性					
テキスト	情報サービス論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズ III - 5) 小田光宏編著 日本図書館協会	参考文献	『レファレンス・サービスの発達』 サミュエル・ローススティーン著 日本図書館協会 『だれのための図書館』 ホイットニー・ノース・シーモア Jr., エリザベス・N・レイン著 日本図書館協会 『図書館利用教育ガイドライン合冊版：図書館における情報リテラシー支援サービスのために』 日本図書館協会図書館利用教育委員会編 日本図書館協会		
評価方法：					
通課題 4 課題と試験による					